

今回は、保育実習で園児に見せる絵本を作る生徒の様子、和太鼓を使った児童の活動の様子をご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局3679

東部中学校「保育実習」

保育園児のための絵本を作ろう！

東部中学校の3年生が、家庭科の保育実習(11月)で東部保育園、神戸保育園、漆田保育園の園児のために、絵本を手作りしました。生徒たちは初めての絵本作りに戸惑いながらも、幼いころ好きだった絵本をもう一度読み直したり、図書館で幼児向けの絵本を読んで研究したり、試行錯誤を繰り返しながら制作に取り組みました。

保育園児が喜びそうな色使いや、読みやすい文字の大きさを考えたり、“布を貼って手触りを楽しむ絵本”や“飛び出す絵本”、“仕掛けのある絵本”などを工夫したりして作る生徒の姿も見られました。「自分の絵本で、楽しんでもらえたらいいな」「園児と一緒に読みたいな」など、生徒たちは保育実習を楽しみに作っていました。

生き生きとした保育園児と触れ合うことで、幼児との関わり方などを学んでほしいと思います。



●手作り絵本に色を塗る生徒



●手作り絵本での読み聞かせ



●和太鼓クラブの練習の様子



●運動会「みんなで踊ろう 東部の輪」

田原東部小学校「和太鼓」

日本の伝統文化にふれよう！

田原東部小学校では、魅力ある学校づくり事業の一環として、日本の伝統楽器である「和太鼓」を購入し、教育活動や校区の盆踊りで活用しています。

音楽の授業では、和太鼓を使った演奏を行っています。和太鼓クラブは、昨年から校区の専門家を講師に招いて活動を始めました。クラブの時間には、音楽に合わせて打つ和太鼓のリズミカルな音が聞こえてきます。運動会の種目では、「みんなで踊ろう 東部の輪」という種目を設け、和太鼓に合わせてみんなで踊りました。また、6年生が校区の自治会の方から太鼓のたたき方を教えてもらい、校区の盆踊りを盛り上げています。子どもたちの自信に満ちたバチさばきは、多くの方から賞賛をいただき、講師や自治会の方も子どもたちの覚えの速さに驚いています。

和太鼓を通して、地域の伝統も大切にしていってほしいと願っています。